



きんぼし
東大阪

旭工精 株式会社

〒577-0835

東大阪市柏田西 2-17-35

TEL 06-6720-6006

FAX 06-6727-0024

http://www.asahikosei.jp

E-mail:akj@asahikosei.jp



取締役会長
西辻 毅

★創業
1946年(昭和21年)

★資本金
5,000万円

★従業員
140人

★主要営業品目
精密アルミダイカスト部品(自動車、一般家電・コンピュータ関連機器、一般産業機器)

★独自技術・製品
精密無孔性ダイカスト製造技術、
精密金型製作・精密機械加工技術

エコ・環境に貢献する 自動車部品の最先端企業

旭工精(株)は、1949年朝日金属の社名で個人会社として発足。その後1952年に旭金属株式会社に改組、1986年現在の社名に変更した。当初は主として家庭用ミシンクランクロッドを製作、その後アルミダイカスト部品製造を始める。約30年前、従来は、熱間鍛造しかできなかったVTRの精密シリンダーを、自社開発の真空・スクイズダイカスト技術による無孔性アルミダイカスト部品を、世界で初めて鍛造からアルミダイカストに置き換える事に成功した。この「す」のない高品質、高精度のシリンダーは、あっという間に世界シェアの80%を占める同社の基幹製品となった。

1994年には、東大阪市から優良企業賞を受賞。同年セットメーカーの海外シフトに対応すべく、旭工精マレーシア(株)を設立した。同工場は現在1600名の従業員を擁し、海外市場向け部品の生産工場となっている。同社は設計から、金型製作、精密加工、部品製造、検査をすべて自社内部でこなすことで高度な技術ノウハウを蓄積し、様々な分野の先端企業からの開発要請に答えている。

またコア技術であるアルミダイカストにこだわりつつ、自動車の軽量化という時代の要請に対応した技術開発にも余念がない。同社の金型製作ノウハウを生かし、局部的に高密度が必要な自動車用アルミダイカスト部品の量産を可能とした真空成型スクイズ加圧技術を、高効率量産技術として開発。多くの自動車メーカーにエンジン部品を含めた重要保安部品を供給し、エコ・環境対策として業界に先駆けて、電気自動車用エアコンのコンプレッサーを国内・海外全ての自動車メーカーに供給している。また品質保証にも力を入れ、マレーシア工場は1998年にISO9001の認証を取得、本社工場も2000年9月に認証を取得し、2004年8月には、ISO14001を取得し2005年9月にTS16949を取得、2018年12月にはIATF16949を取得している。更に、より高密度のアルミダイカスト製造技術の開発をすすめ、2009年8月に成形型の動作不良検査装置の発明にて特許4358819を取得し、2017年5月には摺動ピン冷却装置の発明にて特許61446643を、2020年12月には局部加圧装置及び局部加圧装置を備えた油圧式変形矯正装置の発明にて特許6792292を取得している。また、2015年3月には、東大阪商工会議所よりモノづくり大賞の金賞を受賞している。

